

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 2月 28日

事業所名 キッズサポートてみる

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		安全を配慮した環境設定を心がけております。	
	2 職員の配置数は適切である	○		保育士、理学療法士、言語聴覚士などを基準にのっとり配置しております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		集中して活動に取り組めるようにカーテンやゲートを設置して視覚的刺激を削減しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動後の道具、設備等を基準を満たした消毒液を使用して清掃しております。また活動中も定期的に換気を行っております。必要な情報はイラストを掲示しながら支援をおこなっております。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		活動日案に沿った個別の目標に取り組んでおります。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		評価を実施し、いただいたご意見等を反映するように努めております。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて公開しております。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		12月に外部評価を実施し、事業所の運営や各種文書・記録等の整備について評価を受け改善に取り組みました。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		利用児の課題に応じた情報収集を行い、職員への周知を行っております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントを踏まえ、子ども・保護者の要望を生かした支援計画を作成しております。	
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたアセスメントシートを使用し、利用児の実態把握に努めております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインの趣旨にのっとり、計画書にも選択した項目を明記したうえで具体的な支援内容を設定しております。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		日課計画案を作成し、計画書に沿った個々の目標を明記し、周知を図ることで統一した支援に繋がるよう努めております。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		担当者が中心となり立案したものを、利用児の課題に沿ったプログラムになっているかチームで確認したのち活動を提供しております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		利用児や曜日を考慮し、実態に合った活動の提供となるようにしています。プログラム内の各活動は固定化せず、活動の幅が広がるよう努めております。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		集団での活動に加えて個別での活動を毎日取り入れているため、個々に合った目標設定を行い計画書に記しております。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼時や毎日の定例ミーティングにて、必要な情報を周知し共通認識を持って支援にあたっております。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の定例ミーティング時に振り返りを行い、気づいた点を共有するとともに改善点を話し合いながら次の支援に活かせるように努めております。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日業務日誌にて個人ごとに児童発達支援計画書の目標に沿った様子、気づき、課題等を記録し、検証・改善を図っています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に1回モニタリングを行い、達成度を確認した上で次に繋がる計画書を作成しております。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		管理者または児童発達支援管理責任者が参画しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて情報を共有し、支援を行っております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—	運営規定上対象外です。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—	運営規定上対象外です。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援としてではありませんが、保護者の方からの依頼に応じ情報提供を行っています。直接お会いした際には情報交換を行っています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		移行支援シートを活用して現在行っている支援の内容や配慮すべき点について情報をお伝えしております。	今後対象となる児童がいるので学校との連携を図り、情報の共有と理解に努めてまいります。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		関係機関と電話等での連携を図っています。	今後研修への参加をしております。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		現在交流や活動は行っておりません。	今後、ご利用者様のご意見ご要望を踏まえて検討してまいります。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		現在参加はしていません。	今後の状況を考慮したうえで、参加を検討してまいります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		毎日療育終了後にその日の様子を文章と写真を使用して報告している。また保護者様からの情報も積極的に聞き取りながら共通理解を図っています。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		コロナ渦のため実施していません。現在は2か月に1回程度、療育だよりを発行しております。	保護者様とも正しい共通認識をもてるよう、オンライン機能を活用しながら研修の機会創出を検討してまいります。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明させていただいております。またご不明点に関して質問があった際、管理者が適切に対応しております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援管理責任者が個別支援計画書を作成し、保護者様に説明ののちサインと押印をいただいております。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		不定期ではありますが、保護者様よりご相談があった場合にに応じております。	定期的にご相談いただけるような環境設定を行ってまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ渦のため実施していません。	オンライン機能を活用しながら今後機会の創出を行ってまいります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		ご利用者や保護者様からの相談等に関しては電話や面談にて迅速かつ適切に対応するように努めています。また苦情などの相談に関しては重要事項説明書に記載しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		不定期に保護者様向けの情報発信をしております。活動概要に関しては見学時にパンフレットと一緒にお渡しして口頭にて説明を行っています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		職員への守秘義務の徹底、外部への情報提供に関しては保護者様へ同意を得た上で行っております。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		利用者の子どもたちに関しては個々に必要な視覚支援などを行っております。またその日の活動をホワイトボードに記載して理解しやすいように表示しております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		コロナ渦のため実施していません。	社会情勢を念頭に置いた上で検討してまいります。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	保護者様への周知等含めて十分ではない部分があり、改善の余地があります。	保護者様や職員へ通知を行い、訓練実施へと繋げてまいります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	年2回の避難防災訓練を計画・実施しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	契約時に聞き取りを行い、必要な場合において職員全体で把握をしております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	契約時の聞き取りの際に確認しております。また必要に応じて対応いたします。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	朝礼での周知、ファイリングにて情報共有を図っております。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	年1回研修を実施し、虐待防止に向けて事業所全体で取り組んでおります。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	契約時、必要に応じて同意書へのサインをいただくことを説明しております。また対象児がいる場合には個別支援計画書への記載を行う予定です。	